

自社の 技術 × 大企業等の 開放特許 = 新製品開発

開放特許を活用した、新製品開発を支援します

岐阜県と(一社)岐阜県発明協会では、県内の中小企業等の技術と大企業等が有する開放特許をマッチングさせることで、迅速な新製品開発を支援する、ビジネスマッチングを実施しています。

知的財産マッチング

知的財産マッチングとは、新商品開発に意欲的な中小企業等の技術と大企業・大学等の開放特許を結びつけることです。



開放特許は宝の山

開放特許とは企業が開発した技術資産である特許のうち、他社にライセンス契約などの形で開放する意思のある特許のことをいいます。経営資源に限りのある中小企業等にとって、有効活用できれば低コストで新製品開発が可能となるため、開放特許はまさに“宝の山”です。

開放特許を使った 4つのメリット

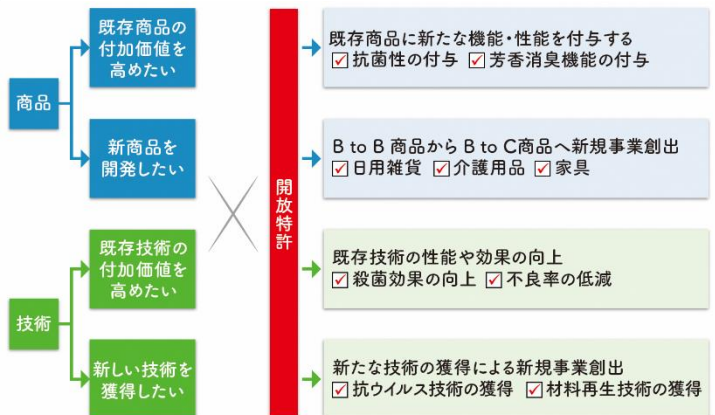
1 新商品開発のアイデアを探ることができる!

2 大企業等の長年の研究成果を活用することで、開発期間の短縮・費用の削減!

3 特許権で守られているため、模倣品を排除!

4 大企業等の信用・ブランド力により自社の知名度が向上!

課題から考える開放特許活用後のイメージ



引用:経済産業省中部経済産業局作成「知財ビジネスマッチングガイドブック」

自社の既存の商品・技術に、開放特許をかけ合わせると

- ◎既存商品や既存技術の付加価値を高めることができる
- ◎新商品開発や新技術獲得による新規事業を創出できる

【お問合せ先】

◇岐阜県商工労働部産業技術課 技術支援係
◇電話：(058)272-1111(内線:3096)
◇メール：c11352@pref.gifu.lg.jp

◇一般社団法人 岐阜県発明協会
◇電話：(058)370-8851
◇メール：info@jiiigifu.jp

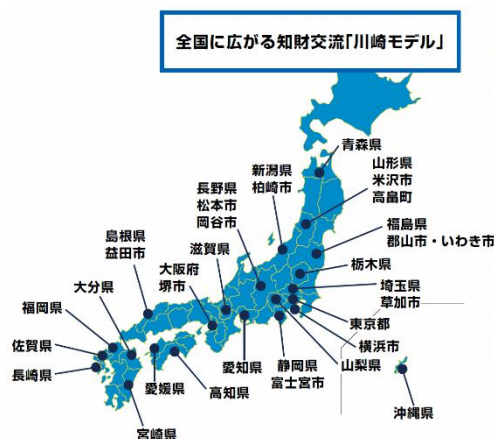
知的財産マッチング事業先進事例 『 川崎モデル 』との連携

大企業の開放特許等の知的財産を中小企業の技術と結びつけ、新製品開発を支援する先進事例「川崎モデル※」を実施している川崎市及び（公財）川崎市産業振興財団と連携し、事業を実施します。

※ 神奈川県川崎市では全国に先駆け、2005年より、地域産業活性化を目指し、大企業・研究機関が保有する開放特許等の知的財産を中小企業に紹介し、中小企業の製品開発や技術力の高度化、高付加価値化を支援するための事業を行っており、川崎市を中心とした知的財産交流のネットワークは、全国に広がっています。

[「川崎市 知的財産マッチング」で検索](#)

これまで参加した大企業など				
富士通	東芝	日本電気	日立製作所	日産自動車
パイオニア	味の素	ミトヨ	NHK エンジニアリングシステム	日本電信電話
出光興産	日本ハム	キヤノン	中国電力	富士通 セミコンダクター
イトーキ	シャープ	京セラ コミュニケーションシステム	ソシオネクスト	富士ゼロックス
トヨタ自動車	シーメンス	荏原製作所	パナソニック	三井化学
日新製鋼	KDDI	ポリプラスチックス	キュービー	本田技研工業
新電元工業	アネスト岩田	JR東日本	中部電力	森永製菓
日本無線	ヤマハ	関西電力	リコー	野村総合研究所
富士通 アドバンスエンジニアリング	その他 国立研究開発法人			



引用：川崎市・（公財）川崎市産業振興財団作成「川崎市知的財産マッチング事業」

事業スケジュール

1 本事業にご興味のある企業様の募集

ご要望に応じて、企業訪問等により、事業内容等を詳しくご説明します

2 企業向けセミナーの開催（7月頃）

【内容】事業説明・事業の活用企業による事例紹介

3

中部経済産業局主催

知的財産ビジネスマッチング交流会の開催（11～12月頃）

【内容】大企業等による開放特許のご紹介 / 大企業との個別面談

4

開放特許のライセンス契約

5

新製品開発までの伴走支援

県試験研究機関や県産業経済振興センターなどがお手伝いします